

令和元年度 管理運営業務点検報告書

対象施設	横浜市生麦地区センター
対象期間	平成31年4月1日 ~ 令和2年3月31日
指定管理者	特定非営利活動法人 鶴見区民地域活動協会
実施日	令和2年6月3日(水)
点検方法	業務点検実施マニュアルに沿い、指定管理者からの報告書類の内容審査、ヒアリング、施設の立ち入り調査により実施した。
講評	<p>利用者への接遇は丁寧に行われ、施設内も整理整頓が行われており、管理運営は適切に行われています。</p> <p>地域のイベントに積極的に参加し、地域の方との連携を深めるよう努められた点が評価できます。地域アドバイザーを選出し、地域との緊密な連携や事業などを実施した結果、子どもフェスに出店することが実現しました。</p> <p>また、鶴見の魅力アップ事業の一環として、「河口干潟の生き物観察と水辺体験」などの自主事業は、自然環境保護に目的とした他団体の活動の啓蒙にも一役買っています。</p> <p>今後も引き続き、地域におけるニーズを汲み取りながら、地域の各団体・町内会・ボランティアと連携して、コミュニティの醸成、地域連帯の意識形成を図る活動拠点としての役割に期待しています。</p>
指摘事項	特になし
改善状況	特になし
添付資料	業務点検結果シート(別紙)

頻度	点検項目	点検内容	点検結果
毎月	利用料金収入実績	収入実績、見込額達成状況	利用料金収入は目標対比99.65%
	利用者実績	開館日数、入館者数、利用層別利用数、居住区別利用数、その他利用数	利用者数は前年度比6%増
	会議室等稼働率	部屋別の稼働率	全体の稼働率は48.7%(体育室は84%)
四半期	指定管理料の執行	指定管理料の支出金額、執行率	予算書に基づき適正に執行されている。
		ニーズ対応費執行状況(品目、数量、金額)	利用者用物品購入、秋まつり経費などに999千円が執行されている。
	自主事業実施状況	募集対象、事業名、開催回数、参加人員、経費、1人あたり参加費、講師謝金、事業計画書の自主事業計画との整合性	幅広い年代を対象に事業が実施され、延べ12,688人(秋まつり8,890人を含む)が参加。ケアプラザを含む、地域の様々な団体と協働して事業企画を行っている。
	運営体制	館長、指導員(副館長)、スタッフの勤務実績	業務に支障のない勤務実績であった。
	施設の管理状況	点検日時、点検状況 事業計画書どおりの適切な管理の実施(第三者への委託状況等)	適切に管理が実施されている。
	修繕の実施状況	施設修繕の実施状況	適宜実施されている。
	備品	備品(I種)の購入・廃棄状況	適宜実施されている。
	広聴、ニーズ把握	広聴(窓口、電話、ご意見箱、アンケート、市コールセンターへの意見・要望等)や利用者ニーズの把握状況と対応、掲示の有無等	利用者からのご意見・ご要望に対し、適宜対応がとられている。
	巡視点検	受付窓口の状況、館内の状況等	適切に運営されている。
年1回	利用方法	利用要綱や利用案内の内容、備付け状況等	窓口で利用方法を掲示したり、ネット予約についても利用ガイドを配布するなど利用者への周知に努めている。
	個人情報保護	個人情報保護取扱特記事項の取組状況(研修の実施、誓約書の提出等)	スタッフに対し研修を行うとともに、誓約書が提出されている。
	緊急時対策	緊急時対策マニュアルの作成・運用状況	作成・提出されている。
	防犯・防災対策	防犯・防災対策マニュアルの作成・運用状況	作成・提出されている。
		消防計画の作成・提出状況	作成・提出されている。
	保険	施設賠償責任保険への加入	加入している。
	研修	職員等に対する研修の実施状況	施設運営に必要な研修を実施している。
本市重要施策への実現に向けての取組	横浜市一般廃棄物処理基本計画に沿った取組、市内中小企業への優先発注等の取組状況等	ごみの持ち帰り、節電などへの理解・協力を利用者へ呼びかけている。また、市内中小企業へ優先発注に努めている。	
随時	地区センター委員会	日時、場所、出席者、議題、意見等	5月に開催。前年度の事業報告及び今年度の事業計画・予算等の報告。
	利用者会議	日時、場所、出席者、議題、意見等	6月に開催。各報告及び利用者との様々な意見交換を行う。
	事故等の発生状況	日時、発生状況、対応、再発防止策の検討	特になし
	損害賠償	損害賠償の発生状況	特になし
	不可抗力	不可抗力発生に伴う影響	特になし
	情報公開	件名、申請状況、対応状況	特になし
	喫緊の対応が必要又は特に重要な意見、要望	すぐに対応が必要な施設に対する意見、要望	特になし
	特に重要な施設の維持管理、修繕に関すること	利用の制限を伴うなど、重要な施設の維持管理、修繕に関する状況	特になし
特筆すべき事項	サービス向上や経費節減等の取組事項		改善指導事項
	<ul style="list-style-type: none"> ■利用者の要望に応え、体育室の団体利用枠を増やしたことで、より有効な利用につながっている。 ■図書利用促進策に注力、年々目標数をクリアしており、新規登録カードの申請も増えてきている。 ■自主事業ポスターに満員御礼の札を貼ることで、応募状況や人気度を他の利用者へアピールした。 		特になし